

第 58 回全国学童保育研究集会（20231104~20231105）レポート

【クラブ】（ あおぞらクラブ ）

【名 前】（ 花田 幸奈 ）

① 2 日目に参加した分科会のタイトルをお書きください。

第（19）分科会 （ 子どもの気持ちに気づく ）

※全体会のみに参加の場合は、全体会の記念講演のタイトルをお書きください。

② この分科会を選んだ理由をお書きください。

“子どもの気持ちに気づく”というテーマを見た時に、私たち大人にとってとても大切なことであると思い、このテーマに惹かれました。自分自身が普段、“もう少し子どもたちの気持ちを汲み取って物事を考えてあげられたらよかったな”と思うことや、“子どもたちの気持ちにもう少し気づいてあげられたらな”と感じることが多く、この文科会を選びました。

③ 2 日間の全体会と分科会で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

2 日目の分科会では、講師の先生が大学の教授をされているということで、講師の先生が生徒さんとかかわる中で感じたエピソードを話していただき、とても心に残るお話がたくさんありました。

冒頭で講師の先生の、“子どもの気持ちに気づけるかどうかという前に、大人でも自分の気持ちに気づくのが難しいこともある”という言葉聞き、ハッと気づかされました。子どもの気持ち分かかってあげたいと思うこと以前に、大人でもそういう状況にあるということを念頭に置いておく必要があると思います。また子どもたちが、“自分の気持ちに気づいて話を聞いてほしい”ときもあれば、“気持ちには気づいてほしいけどそっとしておいてほしい、話したくない”ときなど様々な場面があると思います。さらに、“この人にだったら信頼して話ができる”と思うことも、特に学年があがるにつれて増えていくと思います。講師の先生も“この人には否定されない”と生徒さんに思ってもらえる存在でいたいけれど、自分自身も反省の毎日です”と仰っていて、つねに向上心を持ち努力し続ける姿が印象的でした。私もいつまでも子どもたちと一緒に成長していきたいという気持ちを持ち続けていきたいと思います。

あらためて、今回のテーマである“子どもの気持ちに気づく”ということは難しく、もっと子どもたちとたくさん関わる中で学んでいく必要があると思いました。一人で考えていてはなかなか気づきにくいからこそ、指導員同士で話し合う場が大切で、子どもの気持ちを「こうかな?」「ああかな?」と想像していくことが大切だと気がつきました。ただ、必ずしも子どもたちの気持ちを分かろうとしすぎない、焦って話を聞こうとしない、ただ見守っているだけでいいこともあるということとは忘れてはいけないと思いました。

※提出されたレポートは、当会の広報誌やホームページに掲載する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※×切は、11 月 19 日（日）です。常勤・専任指導員に手渡し、または FAX：0564-32-0325 までお送りください。

